科目ナンバー	SEM-1-002-ky			1107	#7#:南朝! /元	177 \				
料目エンハー 教員名	-				基礎演習II (平岡) 2020年度 後期 単位:		単位数	2		
教 員名	<u> </u>				2020年度 俊期 単位数					
概要	基礎演習「で身につけた力をもとに、教育に関わりのある時事問題や教員に求められている資質能力な どをテーマとして、主体的に学ぶ力を高めます。									
到達目標	基礎演習 で身につけた学びの技法を実践で使えるようにします。さらに、本演習では個人の技能を高めるだけでなく、協働学習に必要な技能を高めます。									
「共愛12の力」と	の対応									
識見 自律する力 コミュニケーションカ 問題に対応する力							 [†]			
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	0	分析し、思考するカ 〇		カ ()		
共生のための態度	隻	自己を抑制する力	0	協働する力	○ 構		実行する	力		
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	るカ	実践的ス	スキル	0		
教授法及び課題の フィードバック方 法 基礎演習で身に付けた協働での学びをいっそう深化させることで、さらに議論を掘り下げた演習 目指します。 本演習ではグループワークと個人・グループ発表、個人レポート の提出を課します。各課題に対 適宜総評を伝えます。										
アクティブラーニ	ング	サービスラ	ラーニング		課題解決	型学修	学修			
受講条件 前提 本演習は、児童教育コース1年の必修授業です。										
アセスメントポリ シー及び評価方え	の1以上の 本演習及び らびにリータ	平常点・授業や課題への取り組み(50%)レポートの内容・発表について(50%)なお、全授業回数の3分の1以上の欠席者は不合格にします。 本演習及び課題への取り組みでは、コミュニケーションスキルとしての伝え合う力や協働する力、ならびにリーダーシップ、自己を抑制する力、主体性を総合的に評価します。また、レポートの内容・発表では課題理解度、分析し思考する力、実践的スキルを総合的に評価します。								
教材	教育に関わりのある時事問題や文献資料を教材とします。									
参考図書 各担当者から適宜紹介します。										
内容・スケジュー	ル									
1週目										
授業学修内容	夏休みの課題	発表会(各ゼミ)課題	図書の購入	・提示。						
授業外学修内 容	担当者から提	当者から提示された課題図書を読んでくること。 時間数 4					4			
2週目										
授業学修内容	課題図書の輪読・ディスカッション									
授業外学修内 容	ディスカッションを踏まえ自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2				2					
3週目						·				
授業学修内容	大学祭に向けて	大学祭に向けての準備1								
授業外学修内 容	話し合いおよび準備を進めておくこと。				時間	数	4			
4週目						•				
授業学修内容	容 コース奨学金表彰式テーマを深める1 深めるべきテーマの探求、調査・分析									
授業外学修内 容	話し合いおよて	話し合いおよび準備を進めておくこと。 時間数 4				4				
5週目										
授業学修内容	大学祭に参加して気付いたこと、今後の課題について討論する。テーマを深める2深めるべきテーマの決									
授業外学修内 容		ケスタック マイス カッションに向けて準備をしておくこと。ディスカッションに向けて準備をしておくこと。ディスカッションに向けて準備をしておくこと。テーマに関して資料収集等を行っておくこと 時間数 4				4				
 6週目				· -						
	テーマを深める	 る3ディスカッション								

容 アイスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 9週日 授業学修内容 教育講演会	授業外学修内 容	発表準備に向けて自分の意見をまとめておくこと。 	時間数	2				
授業外学修内容	7週目							
容 ディスカッションを指まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 授業学修内容 テーマを深める5発表・ディスカッション 授業外学修内容 ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 受	授業学修内容 テーマを深める4発表・ディスカッション							
授業学修内容 テーマを深める5発表・ディスカッション 授業外学修内 ディスカッションを蓄まえて、自分の意見をまとめておくこと。		ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。	時間数	2				
安全	8週目							
空間	授業学修内容	テーマを深める5発表・ディスカッション						
授業学修内容 教育講演会 講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。 時間数 2 10週目 授業学修内容	授業外学修内 容	ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。	時間数	2				
接案外学修内	9週目							
容 講演会の課題思想又をまとの、KCGへ。 時間数 2 10週目 接業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーボイントにまとめる1発表内容の構成を考える 投業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 2 11週目 投業学修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。 投業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 4 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3	授業学修内容 教育講演会							
授業学修内容 せいに次めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる1発表内容の構成を考える	授業外学修内 容	講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。	時間数	2				
授業外学修内 容 発表の準備を進めておくこと。 時間数 2 11週目 1週目 1週目	10週目							
	授業学修内容	ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる1発表内容の構成を考える						
授業学修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。		発表の準備を進めておくこと。		2				
投業外学修内容 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 日間数 12週目 接業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する 投業学修内容 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 日間数 13週目 日間数 14 日間数 15 日間数 15 日間数 15 日間数 15 日間数 16 日間数 16	11週目							
容 発表の準備を進めておくこと。	授業学修内容	マ スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。						
授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する		発表の準備を進めておくこと。	時間数	4				
投業外学修内 容								
容 スライドの作成を進めておくこと。	授業学修内容	ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する						
授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業外学修内 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 提業外学修内容 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 上記の授業外学修時間の合計 50		スライドの作成を進めておくこと。		4				
授業外学修内								
容 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発 表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 上記の授業外学修時間の合計 50	授業学修内容	業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正						
授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。		スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。		4				
授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目	14週目							
容 表会の準備をしておくこと。	授業学修内容	全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。						
授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 授業外学修内 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。				4				
授業学修内容 め)。	15週目							
授業外学修内 題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい 時間数 6 て、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。	授業学修内容							
		題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい		6				
その他に必要な自習時間 40	上記の授業外学修時間の合計			50				
	その他に必要な自習時間 40							

Number			Freshman Basic Seminar II				
Name	平岡 さつき(Hiraoka Satsuki)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2		
utline	Based on the skills we gained in "Freshman Basic Seminar I", we will increase our ability to learn proactively with themes such as current issues related to education, and the qualities and profic iencies required for educators.						